

避難の方法

避難は公民館や学校といった指定避難所への移動だけではありません。住んでいる地域やそのときの状況、人によって方法は異なります。普段からどう行動するか決めておきましょう。

■立退き避難(自宅以外の場所への避難)

- 町が開設した避難所
- 安全な親戚・知人宅(縁故避難)
- 安全なホテル・旅館への宿泊(通常の宿泊料が必要です。この防災マップで安全かどうか確認し、予約しましょう)



■緊急安全確保

「立退き避難」を行う必要がある居住者等が、適切なタイミングで避難をしなかった等により避難し遅れたために、災害が発生・切迫し、立退き避難を安全にできない状況に至ってしまった場合に、命の危険から身の安全を可能な限り確保するため、その時点での安全である場所へ直ちに移動等することが「緊急安全確保」です。



避難所について

避難所開設情報を確認しましょう

災害時は、すべての避難所が開設されるわけではありません。台風などの接近に備え、避難指示などを発令する前から自主的に避難する人のために開設する「自主避難所」や、発令後に対象地域の避難先として開設する「指定避難所」の開設情報を町のホームページや安全安心メールでお知らせします。※避難する場合は、どこの避難所が開設されているか確認しましょう。

避難所では生活ルールを守りましょう

避難所では限られた空間の中でたくさんの人が生活しますので、協力して良好な環境を保ちましょう。起床や就寝の時間、トイレの使い方、喫煙場所、ペット同伴の可否など避難所のルールを守りましょう。ほかの人の居住スペースに立ち入ったり、のぞいたり、大声で話したりするのはマナー違反です。限られたスペースをゆずりあって使いましょう。配慮が必要な方のために、場所の移動をお願いすることもあります。

役割分担して運営に参加しましょう

避難者もできる範囲で、受付や清掃、炊き出し、物資の配布など役割分担しましょう。

皆さんで助け合いながら避難所運営に参加しましょう。



~飼い主が備えておくべきこと~

ペットの同行避難は各避難所に定められたルールに従いましょう。避難者がいるスペースから離れ、決められた場所につないだり、持参したケージ(おり)等に入れたりするなど、飼い主が責任を持って世話をしましょう。

ウイルス等の感染症が収束しない中でも、災害時には 危険な場所にいる人は避難することが原則

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な行動をとりましょう。

避難先では感染症予防に努めましょう

・避難所に入る前に

感染の拡大を未然に防ぐことが非常に重要です。
避難所に入る前に、発熱の有無など体調チェックを行いましょう。

・換気の実施

可能な限り、定期的に換気を行いましょう。
換気は季節を問わないので、寒暖差への防寒対策も必要です。

・手洗い、うがいをこまめに

食事前や、トイレなど共有部分に触れた後は、石けんと水で手洗いしましょう。水を十分に確保できない場合は、アルコール消毒液などで代用しましょう。

・「3密」(密閉・密集・密接)の回避

避難者同士2m程度の距離を保ちましょう。向かい合はせではなく背中合わせに座ったり、段ボールなどの間仕切りを利用すると、飛沫感染の予防になります。また食事時間をずらすなどして、密集・密接を避けましょう。

・咳エチケットの徹底

飛沫感染の予防のため、咳などが出ていてもマスクを着用しましょう。

・日々の健康状態をチェック

定期的に体温を測定し、体調の変化を感じた場合にはすぐに避難所のスタッフに相談しましょう。

・車中避難

密を避けるため自家用車等に避難する際は、こまめな水分補給や定期的な運動でエコノミー症候群に注意しましょう。

*感染症予防に限らず健康上の不安があったら避難所にいる保健師に相談してください。

風水害対策

「風水害」とは、強風、大雨、洪水などによる自然災害のことです。これらは、毎年のように全国各地に大きな被害をもたらしています。このような自然災害から身を守るために、さまざまな自然現象について正しい知識を持ち、自分自身への身近な危険として認識し、災害時にとるべき行動を平時から身につけておくことが重要です。

氾濫の種類



外水氾濫とは

河川の堤防から水があふれたり、堤防が決壊して、家屋や田畠等が浸水することです。外水氾濫が発生すると、大量の水が流れ込み、広い範囲で浸水し、水が引くまでに時間がかかります。

内水氾濫とは

市街地などで大雨が降ると、側溝や排水路だけでは雨水を流しきれなくなることがあります。あふれ出した雨水により、建物や土地・道路等が水に浸かってしまうことがあります。雨が降り始めてから短時間で浸水することもあるので注意が必要です。

雨の強さと降り方

やや強い雨 ザーザーと降る	強い雨 どしゃ降り	激しい雨 バケツをひっくり返した ように降る	非常に激しい雨 滝のようにゴーゴーと 降り続く	猛烈な雨 息苦くなるような圧迫感 があり恐怖を感じる
地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる。ワイパーを速くしても見づらい	道路が川のようになる。高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	傘は全く役に立たなくなる。車の運転は危険
10mm以上～20mm未満	20mm以上～30mm未満	30mm以上～50mm未満	50mm以上～80mm未満	80mm以上～

風の強さと吹き方

やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。樹木全体や電線が揺れ始める	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。雨戸やシャッターが揺れる	何かにつかまつて立ていられない。飛来物によって負傷するおそれがある	屋外での行動はきわめて危険。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック塀で倒壊するものがある
平均風速 10m/s以上～15m/s未満	平均風速 15m/s以上～20m/s未満	平均風速 20m/s以上～30m/s未満	平均風速 30m/s以上

台風について

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋または南シナ海に存在し、なおかつ低気圧域内の最大風速(10分間平均)がおおよそ17m/s(34ノット、風力8)以上のものを「台風」と呼びます。

大きさの階級	大きさ	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上800km未満	
超大型(非常に大きい)	800km以上	
強さの階級	強さ	最大風速
強い	33m/s以上44m/s未満	
非常に強い	44m/s以上54m/s未満	
猛烈な	54m/s以上	

台風への備え

